

27日 月曜

I サムエル

28:15 サムエルはサウルに言った。「なぜ、私を呼び出して、私を煩わすのか。」サウルは言った。「私は困りきっています。ペリシテ人が私を攻めて来るのに、神は私から去っておられます。預言者によっても、夢によっても、もう私に答えてくださらないのです。それで、私がどうすればよいか教えていただくために、あなたをお呼びしました。」

28:16 サムエルは言った。「なぜ、私に尋ねるのか。【主】はあなたから去り、あなたの敵になられたのに。」

28:17 【主】は、私を通して告げられたとおりのことをなされたのだ。【主】は、あなたの手から王位をはぎ取って、あなたの友ダビデに与えられた。

28:18 あなたが【主】の御声に聞き従わず、主の燃える御怒りをもってアマレクを罰しなかったからだ。それゆえ、【主】は今日、このことをあなたにされたのだ。

28:19 【主】は、あなたと一緒にイスラエルをペリシテ人の手に渡される。明日、あなたもあなたの息子たちも、私と一緒にいるだろう。【主】は、イスラエルの陣営をペリシテ人の手に渡されるのだ。」

28:20 すると、サウルはただちに地面に倒れて棒のようになり、サムエルのことばにおびえた。しかも、その日一昼夜、何も食べていなかったのだから、力は失せていた。

28:21 女はサウルのところに来て、サウルが非常におじ惑っているのを見て彼に言った。「あなたのはしためは、あなたが言われたことに聞き従いました。私はいのちをかけて、あなたが言われたことばに従いました。」



28:22 今度はあなたが、このはしためが申し上げることをお聞きください。パンを少し差し上げます。それをお食べください。お帰りのとき、元気になられるでしょう。」

28:23 サウルはこれを断って、「食べたくない」と言った。しかし、彼の家来も女もしきりに勧めたので、サウルはその言うことを聞き入れて地面から立ち上がり、床の上に座った。

28:24 女の家来に肥えた子牛がいたので、彼女は急いでそれを屠り、また、小麦粉を取って練り、種なしパンを焼いた。

28:25 それをサウルと家来たちの前に差し出すと、彼らは食べた。そしてその夜、彼らは立ち去った。

サウルにとっては霊媒という間違った方法ですが、神の預言者サムエルとの接点が見出せませんでした。しかし神様は哀れみ深い方なので、彼に語られたのでしょうか。すべては主の許しと支配の中で起きることですから、私たちはあらゆる状況において主の御心を悟る者でありたいと思います。

サウルはそこまで気落ちしても、悔い改めて主に立ち返ることをしませんでした。思えばこれまでたくさんのチャンスがあったのに悔い改めなかったのです。そして自分に良くしてくれる家来や、食べ物などで一時の満足や安心を得ていました。

私たちは主こそが本当の満足、安心であることを忘れないようにしましょう。それゆえに間違いに気づいたなら、主の御心に立ち返りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

